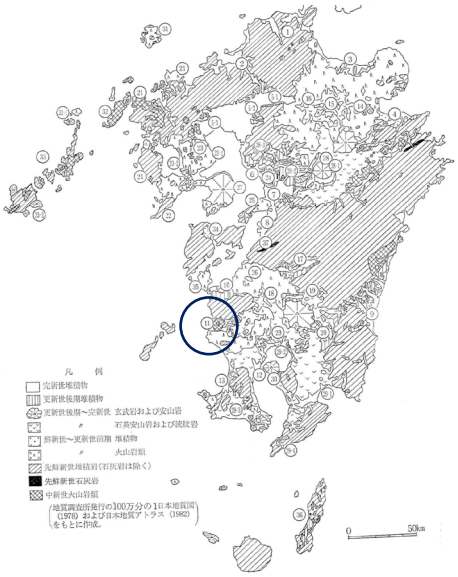
11.川内平野

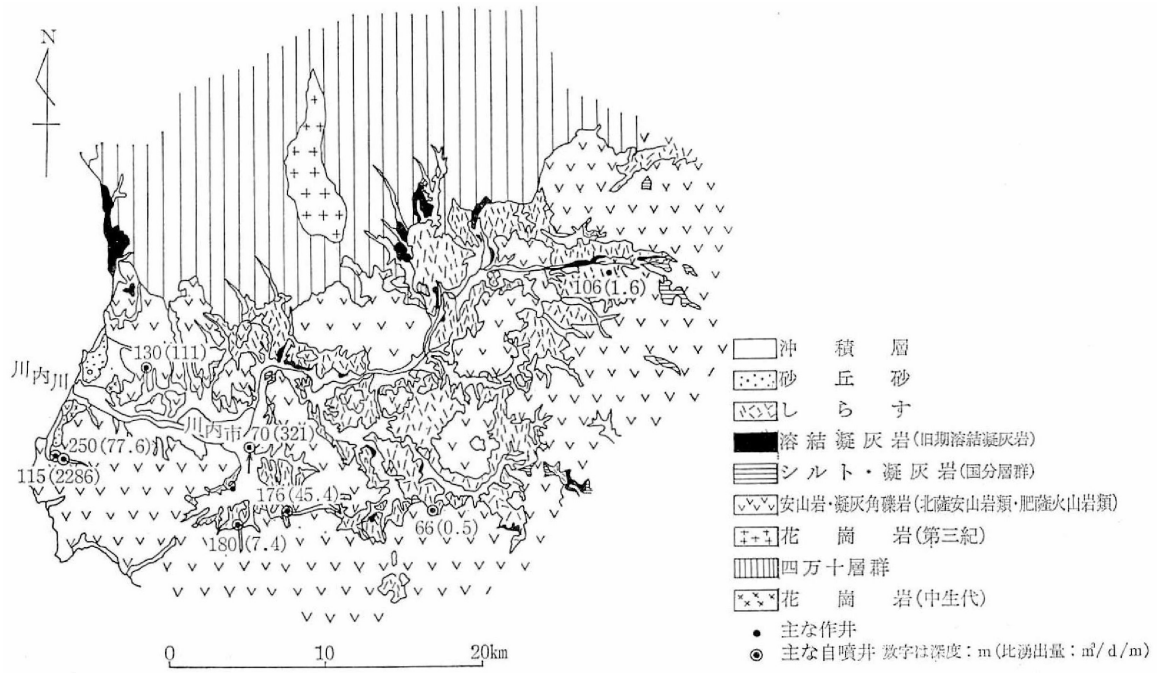


地形・地質

川内平野は鶴田ダム下流部の川内川とその支川の地域です。平野北部の標高約100m 以下の部分はしらす台地になっています。しらす台地は川内川やその支川に浸食され，沖積面が形成され，川内川河口部には小規模な砂丘が発達しています。

地下水

肥薩火山岩類(安山岩類・凝灰角礫岩類)を対象とする井戸は，主として裂か水を取水し，自噴するものが多いです。ただ裂かの発達状況によって揚水能力が異なり，廃棄された深井戸も多いです。川内川河口の右岸部に発達する唐浜(砂丘)では，砂丘砂から取水しています。



川内平野の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）